

平成 16 年 11 月
食品安全部基準審査課

前回部会の検討課題について

1. 我が国における魚介類等の摂食量の分布について（資料 No. 2）
 - ・前回部会資料において、我が国における魚介類等による水銀摂取量の試算に用いる摂食量として、20歳以上の女性摂食者の平均摂食量を用いたことについて、出産可能年齢で試算することも検討すべきではないかとの指摘があったもの。
 - ・各魚介類等の摂取量分布（90%タイル値等）について整理する必要があるとされたもの。

2. 我が国における魚介類等による水銀摂取量の試算（資料 No. 3、4）
 - ・前回部会資料において、我が国における魚介類等による水銀摂取量の試算について、メチル水銀濃度分析結果に基づくものものに加え、総水銀濃度分析結果に基づくものも提出して欲しい旨要望があったもの。

3. 魚介類中のメチル水銀濃度と体重等の関係について（資料 No. 5（水産庁作成））
 - ・魚介類等に含まれる水銀濃度と体重等との関係について検討する必要があるとされたもの。

我が国における魚介類等の摂食量の分布について

平成13、14年の国民栄養調査について各魚介類等を特別に集計し、摂食者全員、20歳以上の女性摂食者、15～49歳の女性摂食者それぞれの平均値、50%タイル値、90%タイル値、95%タイル値を以下の表に取りまとめた。

魚介類等	摂食者全員					20歳以上の女性摂食者					15～49歳の女性摂食者				
	平均値 (g/day)	50%タ イル値 (g/day)	90%タ イル値 (g/day)	95%タ イル値 (g/day)	摂食者 数(人)	平均値 (g/day)	50%タ イル値 (g/day)	90%タ イル値 (g/day)	95%タ イル値 (g/day)	摂食者 数(人)	平均値 (g/day)	50%タ イル値 (g/day)	90%タ イル値 (g/day)	95%タ イル値 (g/day)	摂食者 数(人)
魚類平均	82.7	72.0	168.0	208.1	18,839	83.4	73.8	162.4	200.0	7,874	73.6	66.4	146.6	178.1	3,558
カジキ	69.8	70.0	100.0	138.5	135	73.0	70.0	105.0	120.0	51	65.4	70.0	100.0	105.0	28
キンメダイ	79.2	71.0	133.3	160.0	144	76.6	68.5	133.3	160.0	66	75.0	70.0	133.3	150.0	31
サメ	(76.3)	(64.0)	(125.0)	(125.0)	6	(82.5)	(82.5)	(125.0)	(125.0)	2	(40.0)	(40.0)	(40.0)	(40.0)	2
タイ類	56.2	43.7	105.0	140.0	708	58.3	44.0	110.0	150.0	289	54.2	40.0	100.0	140.0	115
マグロ類	26.3	18.8	65.3	100.0	6,043	37.5	30.0	75.5	100.0	1,570	32.2	26.0	65.1	94.0	830
ムツ	88.0	76.0	125.0	250.0	38	93.6	76.0	250.0	250.0	17	(74.6)	(75.0)	(125.0)	(125.0)	9
クジラ類	94.1	82.0	150.0	250.0	17	(96.4)	(100.0)	(150.0)	(150.0)	7	(96.7)	(100.0)	(150.0)	(150.0)	3
バイガイ	(40.0)	(40.0)	(90.0)	(90.0)	5	(40.0)	(40.0)	(40.0)	(40.0)	1	(40.0)	(40.0)	(40.0)	(40.0)	1
ツナ缶詰	21.6	17.5	50.0	60.0	1,461	29.0	25.0	50.0	66.6	423	28.3	25.0	50.0	66.6	285

※1：我が国の人口動態調査においては、15～49歳を再生産年齢人口（生物学的な意味で親となることが可能な年齢）としている。

※2：摂食者が10人に満たないものについては、「()」で示す。

注) 平成16年8月部会資料5-1における魚介類ごとの摂食者数及び摂食量は、同一人が同一分類中の複数種類の魚介類を摂食したケースにつき、各種類ごとに1人として計算している。他方、今回の集計では、分類ごとに集計した。

